



おすすめ児童書1月



啓林堂書店 外商部



担当 蔵田・表野・森川

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上

 <p>おせち</p>	<p>文・絵 内田有美 料理 満留邦子 監修 三浦康子</p> <p>おせち ¥1,100</p> <p>年が明けて新しい一年が始まる時、おせちを食べます。おせち料理って何が入っているのでしょうか。何か意味があるのでしょうか。例えば、黒豆はまめまめしく暮らせますように。たけのこはすくすく育って大きくなあれ。重箱に詰まっている色々な料理には様々な願いが込められています。そして、とってもきれいでおいしそうな料理は写真のように見えますが、繊細に描かれた絵です。すごいですね。</p> <p>ISBN 978-4-8340-8813-7 福音館書店 : 2024年 発売</p>
 <p>おふろおじゃまします</p>	<p>著 たしろちさと</p> <p>おふろおじゃまします ¥1,650</p> <p>かばちゃんとなろちゃんは、トロッコ列車に乗ってみんなのお風呂へ入りに出かけます。がたんごとん。最初はうさぎちゃんの泡のお風呂。気持ちいい～。次はうさぎちゃんも一緒にぶたちゃんのどろんこ風呂。いろいろな動物のお風呂にみんなで入りながら、山の頂上のさるのお風呂に到着。眺めは絶景です。最後はたろちゃんのお家のお風呂。みんなで入ったら、ぱっしょーん。観音開きになっていて迫力満点です。</p> <p>ISBN 978-4-7999-0414-5 文溪堂 : 2023年 発売</p>

▽ 小学生以上

 <p>たすひくねこ</p>	<p>作 にわ 監修 大迫ちあき</p> <p>たすひくねこ ¥1,320</p> <p>10までの1ずつの足し算と引き算をねこたちの冒険と共に楽しく理解できる絵本です。宝の地図を見つけたねこが1匹ずつ増えて10匹で冒険に出発です。ただ冒険の途中で1匹ずつ脱落！減っていってしまいます。さあ、宝箱は見つけられるのか。増えたり減ったりする様子を視覚的にねこで数えることができ、「5+1=6」の式でも表されています。</p> <p>ISBN 978-4-86716-139-5 マイクロマガジン社 : 2021年 発売</p>
 <p>えとえとがっせん</p>	<p>作 石黒亜矢子</p> <p>えとえとがっせん ¥1,650</p> <p>昔、干支に選ばれた12匹の獣たちは、神様のお使いなのをいいことに、威張り散らしていました。そこで立ち上がったのがたぬき。果たし状を出して、決闘を挑みます。でも果たし状をよく見ると四つ葉のクローバーが付いてたりして、優しい一面も出ちゃってます。妖怪風に描かれた十二支の獣たちと、たぬきやねこ、しか、ぶたなど十二支以外の獣たちの戦いはどうなるのか？自分の干支がどんな戦いっぷりなのか注目してみよう。</p> <p>ISBN 978-4-87290-958-6 WAVE出版 : 2016年 発売</p>